

番号	2 - 31	申請者	脳神経内科医長 石崎 雅俊
<p>【審査申請課題】</p> <p>筋強直性ジストロフィーに対する非侵襲的人工呼吸器の効果に対する多施設共同研究</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>デュシェンヌ型筋ジストロフィーは人工呼吸器の使用によって、予後が大きく改善された、一方、筋強直性ジストロフィー (MyD) も同様に呼吸機能が低下するものの、生命予後やQOLが改善したことは示されていない、生命予後やQOLの改善には、非侵襲的人工呼吸療法 (NIV) の導入の成否が大きく影響すると考えられている、しかし、医療現場ではNIVの導入に整理された方法はなく、手探りの状態が続いている、したがって、生命予後やQOLの改善につながる第一歩として、装着前後での患者の生活充足度 (QOL) とMyD患者の人工呼吸器装着の状況との関係、装着コンプライアンスと治療への効果を明らかにすることは極めて重要であると考え、本研究では、MyD患者に侵襲的人工呼吸療法NIVを導入することでのQOLへの影響を評価する。また本研究は、ヘルシンキ宣言、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」および本研究実施計画書を遵守して実施する。尚、同研究課題は既に、研究責任施設である国立病院機構鈴鹿病院にて平成30年10月5日付で倫理委員会にて承認されている</p>			
審査結果	承認 (令和2年12月22日)		